

番傘川柳本社

2月投句句会

締め切り……令和7年1月15日
 参加者………102名
 投句整理………中岡 千代美
 稲葉 良岩
 名簿作成………中岡 千代美
 清記………西上遊 二

宿題 あやかかる 秋谷ゆたか 選

花やかに装う友にあやかろう 池本 ゆき
 本名はケイコ雅号をカコにする 谷口 東風
 桜湯の運にあやかかる見合席 村上 哲子
 立ち振る舞いステキあやかる身のこなし 武藤 伶子
 萬重のヒットが欲しい週刊誌 柴田 園江
 三猿をお手本にする知らんぶり 常國 喜好
 ヒロインにあやかりたくて聖地旅 廣田ひで子
 祝い事あやかりたいとはずむ額 井倉 和子
 先達の徳にあやかり登る山 鈴木さゑ子
 あやかた祖母の口癖阿弥陀さま 龍田 清成
 ちよつとだけあやかりたいと初参り 西井 栄一
 地元しか知らんゆるキャラ多すぎる 阿部 俊八
 百歳の長寿の母の手を撫でる 大岩 郁夫
 九条にあやかかる無邪気平和です 田中きみ子
 さて巳年脱皮上手にあやかろう 山口由利子

宿題 つもり 山藤 聖子 選

裕ちゃんのラッパズボンに酔った夢 碓氷 祥昭
 ありがとう母にあやかかる家事育児 浜野みさえ
 勇ましく育てと孫に武者幟 西川 東岳
 大吉にあやかかる運を待つ日の出 藏田 康子
 御神木パワーあやかかるひと周り 藤井 裕美
 納豆の粘りあやかかる年とする 諸富 幹夫
 よく出来た兄のお陰で叱られず 伊藤 博信
 名前負け親の願いも届かない 細川 正章
 リベラルな友にあやかり壁越える 福本 清美
 あの人になら乗ってみる価値がある 石谷 恵子
 命名は百の曾祖母から一字 鮎子田嘉子
 ロボット故障正規雇用になりました 掃部 博隆
 寺社参りめくみ授かる語を念じ 山内 悦次
 台風猛威落ちざるりんご受験生 穴戸三喜恵
 母の日にあやかり皆でフルコース 大島美智代
 野仏にあやかかる今日というのち 弘津 明子
 似合っても似合わなくても真知子巻き 青嶋由紀美

宿題 つもり 山藤 聖子 選

妻が先逝けば再婚するつもり 谷口 東風
 もう会わぬつもりで吐いた捨てゼリフ 山田 順啓
 薬指を何時まで待たすつもりなの 細川 正章
 長生きするつもりでもらう若女房 伊牟田洋史
 足を病む妻と連れ立ち地図旅行 常國 喜好
 貴男となら苦勞一緒にするつもり 中川 彰一
 散葬のつもりと妻も言っている 福本 清美
 やんわりと言ったつもりが渦を巻く 栗原つや子
 小さい嘘積もり積もって身を責める 西谷 公造
 その積もりでしたとプライドが言わせ 中村八十八
 かんんで済んだと思うあの場面 掃部 博隆
 過信してやったつもりではずれ 水戸 二七
 土俵際どちらも勝っているつもり 諸富 幹夫
 貯金するつもり馬券に化けました 橋本 恭治

百歳の意気にあやかりたい米寿 村田 繁一
 大関にあやかり能登は前を向く 鈴木かつえ
 百歳のばあちゃんかいて皆笑顔 佐藤 后子
 昭和百年何か始めよチャンスだよ 高瀬 秀子
 トラクター耕す後を群れる鳥 桑野まりこ
 あやかりたいが自我に阻まれ後ずさる 中谷 栄子
 ボス猿の本音ゴリラに憧れる 竹明なおみ
 バツイチが狙い定めるブーケトス 西谷 公造
 雑草の意地にあやかかる再トライ 秋谷ゆたか

分かったつもり早合点して恥をかき

若いつもりジャンプ不足で川の中

冗談のつもりが変に誤解され

ピンコロのつもりで弾むお賽銭

温泉の入浴剤で旅気分

うまくいくつもりが誤算すねかじり

睡眠薬に代えて今夜も吟醸酒

せめてものつもり貯金をガザの子に

あれこれの算段楽し宝クジ

つもり貯金楽しいプラン待っている

リフォームのおどろいちゃった見積書

五百円貯金がつもり二千万

つもり貯金家が建つのは先の先

将来は宇宙飛行士目指してる

ノンアルが喉なぐさめる休肝日

金婚を祝うつもりが寡婦になり

古希来ても気持ちちは若い時のまま

見積もりと少し違った人生図

生きねばと十年日記買うつもり

前向きに独りを生きていくつもり

新聞はサブリのつもり読んでいる

いつか一人心づもりはできている

百までは見る聞く歩く且つ作句

お仕事のつもりで母はデイに行く

孝行のつもり両親旅誘う

恩返し介護離職をするつもり

宿題 占

手ひらの雪はどっちへ転がるか

朝焼けの雲に吉凶お伺い

凶出ても思った道をまっしぐら

運勢欄良くない今日は家にいる

大吉と出た占いで蹴躓き

占い師したり顔する夜の橋

占いを信じた友の花魁

蹴飛ばした靴裏返る雨予報

花びらで占っていた青い恋

風水のこだわり垣間見た旧家

すぐ美女の手相見たがる癖がある

運勢欄大吉と出て軽い靴

鉛筆に決めて貰ったご縁です

御神籤と星占いが真反対

占い師家は御殿に違いない

吉も凶もどこ吹く風の阿吽像

占いもいけど聞けよアドバイス

八卦より客の顔見る占い師

風水に嵌って部屋中を黄色

恐いわヨ星座サソリでひのえうま

占いの梯子結局神だのみ

水晶の奥に自分の未来見る

住田 照水

選

中武 弓

植野 繁子

西澤 司郎

細川 正章

大島美智代

南 高志

山口由利子

みよしすみこ

桑野まりこ

山内 悦次

阿部 俊八

鈴木さゑ子

久崎 田甫

伊牟田洋史

田中 堂太

廣田ひで子

中村八十八

西川 東岳

荻野 浩子

安西 廣恭

西陣 五朗

山岸 洋美

占いが凶と出た日の赤い服

生命線だけは当たっていた手相

血圧で占う今日の予定表

手相見の手相を見せてもらいたい

生命線どこで切れるか気に掛かる

良縁のみくじを枝に春を待つ

花びらの最後は好きで終わるはず

お手軽なスマホ易者の店仕舞い

占ってゲットしたのが今の妻

満天の星に占う明日の吉

血液型聞けば占ハラ晩まれる

平凡な手相にホッと生きている

今日の日を占う行き場失って

占い師顔負け母の千里眼

花占い遠いとときめき甦る

笹竹が我が行く道を指図する

愛してる愛してないと花が散る

よく生きたもう占いは気にしない

弘津 明子

竹明なおみ

福本 清美

能田 文夫

西井 栄一

森島アツ梗

村上 哲子

村田 繁一

馬場ナオミ

栗原つや子

穴戸三喜恵

小林 祥司

中谷 栄子

石谷 恵子

井倉 和子

北川ヤギエ

高瀬 秀子

田中五十鈴

宿題 大 衆

ちと不安地球儀包むポピュリズム

多勢に無勢流されるままに行く

独居の棚サンマサバ缶梅の壺

大衆の胃袋掴むいも煮会

大衆の二字に昭和が蘇る

蘆山 常男 選

阿部 俊八

植野 繁子

穴戸三喜恵

桑野まりこ

藤井満洲夫

定番のメニューで足りる縄のれん
壁中にメニューがずらり町中華
インバンド大衆化する京都奈良
大衆の中流を自負するを知り
大衆の悲しむニュース多すぎる
肩書きも地位も名誉も無い気楽
大衆の声を聞かない永田町
大衆は時に冷たくそっぽ向く
大衆の心つかんだ二刀流
大衆魚がバンバンくれたカルシウム
大衆を煽るネットの選挙戦
SNS大衆の声とも言えぬ
大衆心理SNSが操作する
SNS信じたばかりに臍を噛む
マスコミが大衆の気持ちだと流す
詰め込んだ庶民を叱る冷蔵庫
がやがやと安い酒場にある活気
おなじみの大衆酒場仮面脱ぐ
気取らない大衆酒場に情がある
顔出せば大衆酒場知った顔
つぶやきは大衆酒場から吠える
大衆の檄が渦巻くのれん街
湯治場の芝居に推しの女形
大衆の演劇祖母と紙テープ
大衆魚獲れない海の温暖化

石谷 恵子
北川 周興
鈴木さゝ子
馬場ナオミ
角野たかし
西陣 五朗
田中五十鈴
碓氷 祥昭
村田 賢爾
鈴木かつえ
稲垣 義舟
田中 堂太
土居 直子
伊藤 博信
久崎 田甫
茶谷 好太
若山 宗彦
井倉 和子
住田 照水
青嶋由紀美
香川 大
栗原つや子
西川 東岳
藤井 裕美
富永 熙子

大衆魚出世魚へと温暖化
大衆に紛れて沸点確かめる
大衆の歩みを止める街ピアノ
大衆のどよめき渦になるライブ
ペンライト振って一つになっていく
大衆に付度しない一行詩
無党派をSNSが振り回す
大衆が動けば政治変えられる
草の根で核廃絶を訴える
大衆の眼鏡メディアが濁らせる

宿題 筆
一筆箋ころに沁みるありがとう
短冊に春のよるこび筆を執る
絵手紙に筆走らせる春の風
悪筆の賀状をくれる無二の友
筆先にリアルな蛇をくねらせる
筆先の乱れ気になる年賀状
毛筆の冴えて恩師の年賀状
永字六法老いの手習い筆が拗ね
特攻の絶筆悲し鹿屋基地
弁護団の勝訴筆太無罪二字
命名へ未来を託す筆運び
達筆で読めず電話で聞く用事
光る君まねて墨擦るラブレター

新阜 義明
弘津 明子
山岸 洋美
荻野 浩子
鮎子田嘉子
黒田るみ子
西谷 公造
龍田 清成
柴田 園江
福本 清美

入江 晴菜
南 高志
島田千代子
常國 喜好
山口由利子
西谷 公造
山田 順啓
石谷 恵子
安西 廣恭
久崎 田甫
福本 清美
森島アツ梗
羽生 悦郎

書道展書家の中にもいるピカソ
悲しみをやんわりなくす化粧筆
特注の筆で遺言したためる
筆跡から事件の謎が解けはじめ
入れ入れと勘亭流の筆が呼ぶ
起筆まで時間かかった直木賞
びっくり仰天真筆だった蔵の軸
象に筆蛇も知らぬに巳が上手
萬重の筆に踊った江戸の町
筆まめな男にハート盗まれる
写経百貫目指して正座墨をする
筆まめが便り寄越さず気にかかる
嬾やかなかな文字恋を語る筆
悪筆と書く能筆の憎らしさ
今もよく人工授粉筆使う
永字八法基本を学ぶ書道塾
土筆先砲弾に見え戦中派
定年後はとんとこ無沙汰筆とペン
毛筆の流れる文字に淑女みる
筆まめが取柄早速お礼状
筆跡に見る優しさと懐かしさ
墨絵から班文様寂見える
遅筆家に何時も慌てる編集者
まっ黒に空塗るガザの子の絵筆
筆書きのへのへのもへじ男前

村上 哲子
田中きみ子
橋本 恭治
富永 熙子
鮎子田嘉子
田中五十鈴
土居 直子
馬場ナオミ
柴田 園江
荻野 浩子
北川ヤギエ
栗原つや子
鈴木かつえ
村田 繁一
谷口 東風
三瀬清一郎
新阜 義明
中村八十八
小林 祥司
松岡登代子
山岸 洋美
掃部 博隆
藤井満洲夫
阿部 俊八
高瀬 秀子

命日に問うことばかり父の筆
追伸の一筆心して添える
中武 弓
池本 ゆき

宿題 大人の事情 片岡 加代 選

離婚したわけ子どもには分らない
金がない大人の事情知ってる子
大声で大人の事情無邪気な子
貰ったらママが預かるお年玉
子どもらの届かぬ場所にある雑誌
とりあえず愛想笑いでやりすぎす
再婚同士式は挙げない裏事情
子に聞かれ再婚の訳答えかね
大人の事情互いに触れぬ事にする
嘘も方便これも大人の事情です
在宅のパパに仕事の様子なし
とりあげず別居してはとアドバイス
我慢せよ親の事情だ息子たち
暗黙のルールでスルーする話
母離婚子らは揃って母の姓
母ちゃんに何故だか弱いお父ちゃん
大人の事情書き残す遺言書
放蕩の果ての終焉笑えまい
ズバリとは答えられない孫の問い
おべっかも渡る世間の潤滑油
懂れの寿司も我が家は回り寿司
村田 繁一

運動会仕事仕事で来ない父
失敬とひとり抜け出す午後八時
約束を破るパパにもある事情
あちらたてこちらも立てて仲直り
自分から身代わりになる議員秘書
いつだって大人の事情ややこしい
ゴルフこれも仕事と父の二言目
ネグレクト子供に何の罪がある
満月の夜には鍵を掛けません
あからさまに本音は言えぬことがある
社長秘書採否に人事手が出せぬ
大人の事情通用しない反抗期
親戚で付き合いがないがお香典
胃ぐすりを飲んで今夜もお付き合い
先生と呼んでお酒も付き合って
金のことはやっぱ妻に話さなきゃ
子のなせに夫婦たがいに黙り込む
生きがいは違うが夫婦一つ屋根
履歴書に書けぬ仕事の二つ三つ
事情など知らないシングルの子供
陽が沈む一足す一は二にならぬ
突然に名字変わった新学期
この駅で下車の事情は言えません
悪役に徹し何回斬られたか
入江 晴菜
角野たかし
山口由利子
西澤 司郎
住田 照水
島田千代子
中村八十八
鮎子田嘉子
みよしすみこ
武藤 伶子
阿部 俊八
土居 直子
塩谷 邦子
伊藤 博信
山岸 洋美
楠山東石子
常國 喜好
北川ヤギエ
西谷 公造
荻野 浩子
竹明なおみ
穴戸三喜恵
佐藤 后子
掃部 博隆